

保健だより



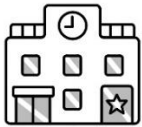
令和5年3月24日
明和県央高等学校 保健室
—第9号—

身近な人だからこそ



新たな環境へのスタートラインに立つ時期がやってきました。この1年を振り返ると、楽しかったことばかりではなく、思い悩んだことや涙を流したこともあったのではないのでしょうか。節目であるこの時期に、1年間を振り返っておくことで、自分の新たな一面や課題の対応方法などを発見できるかもしれません。自分自身の1年間の歩みとゆっくり向き合ってみてくださいね。

さて、自身の振り返りを行う上で、皆さんの身近に感謝したい相手はいるでしょうか？一緒に行動してくれた人、話を聞いたり見守ったりしてくれた人、時には怒ってくれた人など・・・人によって様々な対応をしてくれた人がいたのではないのでしょうか。また、どんな状況下にあっても1年間歩き続けた自分にも“ありがとう”と伝えたいものです。春は出会いと別れの季節です。ぜひこの機会に、身近な人に「ありがとう」、そして「これからもよろしく！」の思いを伝えてみてくださいね。



ココロとカラダのよりどころ 保健室

1年間を振り返ってみました



けが 245人



病気 1120人



その他 207人

今年度の保健室利用者数は、上記のような数字（人数）となりました。「その他」については、“心を落ち着かせたい”、“心や身体の相談をしたい”など、人によって様々な理由がありました。休み時間には、身長を測りに来る人や、健康のために検温しに来る人もいて、多くの皆さんと言葉を交わす機会ができました。また、保健室を利用したことが無い人も、教室等に設置してある消毒液や生理用品を補充してくれたり、体調不良者や負傷者のサポートをしてくれたりと、多くの場面で協力してくれる人が多かったように思います。1年間、『利用しやすい保健室』の運営に協力してくれて、ありがとうございました！

さて、次年度はマスク着用も個人の判断となり、この3年間とは少し違った緊張感の中で新学期を迎える人もいるのではないのでしょうか。保健室には、カウンセラーの先生もいますので、心配事が大きくなりすぎないうちに、上手に保健室を利用してみてくださいね。